

姫路市都心部まちづくり構想(案)への市民意見
(パブリック・コメント)の募集結果について

姫 路 市

姫路市都心部まちづくり構想(案)への市民意見(パブリック・コメント)の募集結果について

平成 18 年(2006 年)3 月 17 日公表

パブリック・コメントの概要

(1) 案件名

姫路市都心部まちづくり構想(案)

(2) 意見募集期間

平成 17 年 9 月 1 日(木)から平成 17 年 9 月 30 日(金)まで

(3) 意見提出状況

109 通(104 件)

市民の皆さんからいただいたご意見につきましては、姫路市都心部まちづくり構想(案)に基づき整理・分類させていただいております関係上、ご意見をそれぞれの区分に沿い、分割して掲載させていただいている場合があります。また、いただいたご意見のうち、内容が同一のものについては、一件にまとめさせていただいておりますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

第4章 都心部まちづくりの方向への意見

No.	市民意見要旨	市の考え
1	(都心部全体にかかわる事項) 気軽に休めるベンチ等のある休憩所を整備し、歩行者にとって優しい街になってほしい。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。なお、ポケットパーク等の整備により、歩行環境の整備を進めてまいります。
2	歩行者支援のミニ交通機関と商店街だけでなく広い範囲で歩行者が快適に歩けるネットワーク(連続したアーケードや意匠を工夫したストリートなど)を整備する必要があるのではないか。	城周辺観光ループバスの運行による歩行者支援のほか、商店街アーケードの特性を活かし、来街者の回遊性を高めてまいります。
3	動く歩道を各所に設置してはどうか。	動く歩道を各所に設置することは計画しておりませんが、駅や周辺道路のバリアフリー化を進め、都心部における歩行環境の向上を図ってまいります。
4	ヨーロッパの例からも、公共交通整備によるCO ₂ 削減が都市再生のカギになるのではないか。自動車で通過される都心を人が集う都心に変えるには、環境保全を大胆に打ち出した交通政策が必要である。	都心部内においては、自動車の過度な流入を抑制するとともに、環状道路網の整備により、道路交通の円滑化に努めてまいります。併せて、歩行者、自転車や公共交通を重視した交通施設の配置など、人にやさしい交通環境づくりに努めてまいります。
5	市民や観光客の足として何かしらの乗り物(レトロな雰囲気路面電車など)をループ状に走らせてはどうか。	構想に記載するとおり、観光ループバスやレンタサイクルの積極的な活用を図り、都心部における回遊性をサポートしてまいります。
6	歩き疲れのないような移動手段(無料又は安価なバスなど)が必要である。	
7	駐車場が増えすぎではないか。これ以上増やす必要はないと思う。	構想に記載するとおり、駐車場については、駐車特性や需給バランス等に応じた適正な確保を検討してまいります。
8	道路沿い、特に大手前通りにコインパーキングを設置する。	
9	道路沿いにもっとコインパーキングを設置する。	
10	市内に無料の駐車場を設置してはどうか。	
11	車の通行を規制するよりも、車でも来やすいような整備をした方が良くはないか。	都心部内においては、通過交通による車両流入の抑制や環状道路網の整備により、道路交通の円滑化を図るとともに、駐車特性や需給バランスに応じた適正な駐車場の確保により、快適な交通環境づくりに努めてまいります。

No.	市民意見要旨	市の考え
12	地下駐車場にタクシーを入れ、ボタン式で呼び出す方策にしてはどうか。排ガス、省エネ、温暖化防止などの効果が見込める。	地下駐車場にタクシーを待機させることについては計画しておりませんが、地球温暖化防止等を図るため、アイドリングストップなどのエコドライブの推奨や低公害車の普及などに努めております。
13	(姫路駅を中心とするゾーン) 街がすっきりするのは良いが、同時に昔(昭和)の感じの良さが失われているのではないか。	構想では、都心部を3つのゾーンに区分し、それぞれのゾーンの特性を活かしながらまちづくりを進めることとしております
14	神戸、大阪のような大型ショッピングパークを充実させてほしい。	いただいたご意見を参考とさせていただき、魅力ある商業地づくりを促進してまいります。
15	姫路は中心市街地が狭く、活性化は困難ではないか。商業地域、遊興地域には大地域が必要であり、現在の駅前地区は混在化している。	鉄道高架事業により新たに発生する広大な用地を活用し、都心部の活性化を図ってまいります。
16	駅の南側について、もっと面的な開発を進め、海までつながりのある開発ができないか。	駅南地区については、土地区画整理等により基盤整備もされており、民間による開発を期待いたします。
17	各種学会の発表・交流機能としてのコンベンション機能は、都心機能として必要であるとともに、国際観光都市としての相乗効果が期待できるので、明確に位置付けてほしい。	国際的、広域的な交流が深まる会議の場などについては、播磨の中核都市、西播磨テクノポリスの母都市を目指すうえで必要な都市機能と認識しており、「姫路駅を中心とするゾーン」のうち「人・もの・情報の交流の空間づくり」に記載しております。
18	市バスターミナルビルを改築し、外観はお城と見間違ふような物産会館を建設する。 1階は、地場名産品、休憩所、トイレ、観光案内所を設け、外に輪タク、人力車等を運行させる。 2階は、姫路名物の食堂街とする。 3階は、公共施設(市役所、郵便局、保健所等)の出張所とする。 4階は、診療所等の医療機関とする。	鉄道高架事業等により、北駅前広場を含めたエントランスゾーンが大きく様変わりする中、市バスターミナルビルのあり方も将来的な課題であると認識しており、このような状況も考慮しつつ、今後、周辺地区の動向等にも注目していきたいと考えております。
19	(大手前通り・商店街を中心とするゾーン) みゆき通りの幅を歩行者しか通れない位の幅にすれば、店に立ち寄る人も増えるのではないか。	みゆき通りの幅を狭くすることは困難ですが、社会実験によるオープンカフェや空き店舗対策等により、にぎわいのある商店街づくりを推進してまいります。
20	(姫路城を中心とするゾーン) 美術館に民間経営のカフェやレストランを併設できないか。	美術館のエントランスホールの一隅に喫茶コーナーを設けており、美術館前庭が見渡せる、くつろぎの空間として来館者に活用されております。

No.	市民意見要旨	市の考え
21	美術館に著名な作家の作品の展示会を開催し、来館者を増加させてはどうか。	美術館においては、常設展示のほかさまざまな企画展示を行っております。今後とも、展示内容の充実を図り、集客の増加に努めてまいります。
22	作られた城下町ではお城のイメージを壊しかねないため、今ある建物などの保存・修復・活用に力を入れるべきである。	歴史的な町並みを構成する町家等については、保存・再生に向けた支援策を検討してまいります。
23	姫路城を中心とするゾーンに「播州屋台会館（仮称）」を建設してほしい。	屋台会館については、屋台文化の保存のあり方や、祭り自体が基本的には地域に根差した祭事、祭礼であることなどを勘案する必要があります。また、祭りは実際に見たり参加したりすることで感動や一体感が得られるものであることから、施設としてのあり方やその必要性等も含め、市が公共施設として整備する場合、建設財源や管理運営費等、経費面での課題についても幅広い検討が必要であると考えております。
24	姫路城登閣者には、駐車場及び好古園を無料にしてはどうか。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。なお、姫路城の保全・活用をはじめ、城周辺施設の充実・連携や観光PR等により観光客の誘致を図ってまいります。
25	城下町の雰囲気을最大限に引き出したまちづくりが都心部全体で展開されることを期待する。また、旧家や近世近代の文化的価値の高い施設の保存・再生にも力を入れて欲しい。	都心部に集積する歴史的・文化的資源の活用や地域の特性を活かした多彩なイベントの開催などにより、城下町・姫路イメージの創出に努めてまいります。なお、都市景観重要建築物等に指定されている物件については、その保存に対する助成を行っております。また、歴史的な町並みを構成する町家等については、保存・再生に向けた支援策を検討してまいります。
26	家老屋敷跡公園に武家屋敷風の建物ではなく、江戸時代庶民の商店街を作れば、全国的に有名になり、観光客も増加するのではないか。	家老屋敷跡公園には、歴史イメージを再現し、土産物屋や飲食店などが営業する家老屋敷跡公園便益施設を整備しております。今後とも同施設のPR等により、観光振興に努めてまいります。
27	姫路の持つイメージを形成するため、家老屋敷跡公園に「姫路江戸村」を作ってはどうか。また、家老屋敷跡公園にATM及び公衆電話を設置してほしい。	家老屋敷跡公園には、歴史イメージを再現した家老屋敷跡公園便益施設を整備し、土産物屋や飲食店などが営業しております。なお、ATMや公衆電話の設置については、既に同公園の周辺に設置されていることから、現在のところ考えておりません。

第5章 都心部まちづくりの重点事業への意見

No.	市民意見要旨	市の考え
28	<p>(キャストィ 21) 駅前を未来化した最先端の街とし、未来都市と姫路城とを対比させれば、お互いに上手く引き立てあうのではないかと。</p>	<p>姫路駅を中心とするゾーンにおいては、キャストィ 21 計画を着実に推進し、高次都市機能の集積を目指すとともに、姫路城を中心とするゾーンにおいては、姫路城の保全と継承に力を注ぐなど、「歴史を育み、賑わいと感動あふれる都心の再生」を目標に都心部のまちづくりを進めてまいります。</p>
29	<p>賑わいを創出するには、多少狭い方がいいのではないかと。キャストィ 21 も敷地が広すぎ、施設も人も集まらないのではないかと。</p>	<p>キャストィ 21 については、公共と民間の適切な役割分担のもと、求められる都市機能の立地・誘導を図り、都心部における新たな賑わいの空間づくりを目指してまいります。</p>
30	<p>市役所をキャストィ 21 に移転させ、市役所跡地には、白鷺園自動車教習所を移設し、さらに教習所跡地には、若者が集まる施設を整備してはどうか。また、姫路駅とお城の北との間に路面電車等を運行させてはどうか。</p>	<p>市役所をキャストィ 21 に移転することは計画しておりません。なお、姫路城の北にある自動車教習所については、現在移転に向けた交渉を鋭意進めております。</p>
31	<p>先ずエントランスゾーンを、次にコアゾーンの具体的な計画を決定し、その後イベントゾーンに着手すべきである。また、計画の具現化のためにもコアゾーンは市が先行取得すべきである。</p>	<p>キャストィ 21 については、広大な用地にわたることや鉄道高架事業等の工程との関係により、使用収益開始時期がゾーン、ブロックによって異なることから、段階整備が必要になると考えられます。なお、構想に記載するのとおり、高次都市機能の拡充及び新しい姫路の玄関口の整備が最も重要な課題であるため、都心部全体への波及効果も期待できるエントランスゾーン及びコアゾーンの整備を優先してまいります。また、コアゾーンについては、特別用途地区、地区計画制度等の都市計画法に基づく規制・誘導方策等を活用し、ふさわしい機能が円滑に立地できるよう検討を進めてまいります。</p>
32	<p>都心部全体の整備計画を策定のうえ、駅中心部より順次整備されたい。</p>	
33	<p>経済効果等を勘案すると、まず、都心部全体の整備計画を策定のうえ、駅中心部より順次整備されるべきである。</p>	<p>都心部まちづくり構想では、播磨の中核都市、西播磨テクノポリスの母都市として、本市都心部に求められる役割等を踏まえ、まちづくりの目標や方向性、必要と考えられる都市機能等の検討を進めてまいりました。なお、キャストィ 21 計画については、基本的には計画の理念、目標などの視点において、今日的課題を踏まえたものと認識しております。</p>
34	<p>キャストィ 21 についてはこれまでの枠組みにとらわれず、もっと自由にコンセプト重視で検討すべきである。</p>	<p>都心部まちづくり構想では、播磨の中核都市、西播磨テクノポリスの母都市として、本市都心部に求められる役割等を踏まえ、まちづくりの目標や方向性、必要と考えられる都市機能等の検討を進めてまいりました。なお、キャストィ 21 計画については、基本的には計画の理念、目標などの視点において、今日的課題を踏まえたものと認識しております。</p>
35	<p>空き地があるから施設を建設するという発想を改めるとともに、無駄な公共工事の見直しを進めるべきである。</p>	<p>いただいたご意見のとおり、限りある財源を有効に活用すべく、費用対効果を常に考え、効率的な公共投資を実施してまいります。</p>
36	<p>イベントゾーン以東は、若い世代や高齢者などが住みやすく交流できる居住地にしてはどうか。</p>	<p>キャストィ 21 計画では、健康福祉・住宅ゾーンを設定するとともに、市之郷住宅の整備など都心居住に向けた施策を進めております。</p>

No.	市民意見要旨	市の考え
37	(エントランスゾーン) JR姫路駅の南北の通行について、階段等があり不便であるので、もっとスムーズに通れるように整備してほしい。	新姫路駅では、地平部で駅の南北を結ぶ中央コンコース及び東西に2本の自由通路を整備することにより、歩行者の利便性の向上を図ることとしております。
38	姫路駅に西改札口を新設し、西側自由通路とつなく。(77件)	新姫路駅の改札口については、中央改札口及び東改札口の設置を進めており、西改札口の設置は計画しておりませんが、高架下利用の中で西側自由通路と中央コンコースとを結ぶ通路が確保できるよう検討してまいります。
39	新北駅前広場は、交通機能に偏重せず水のあふれる憩いの広場となるよう整備計画を策定されたい。また、大手前通りや市バスターミナル等を一体的に捉えたうえで検討されたい。	新北駅前広場については、今年度より基礎調査に着手し、交通結節点機能の向上並びに周辺街区及び街路等との接続に留意しながら、誰もが利用しやすい交流広場となるよう検討を進めております。なお、高架下の空間の有効活用など、引き続き具体的な整備に向けた検討を進めてまいります。
40	新北駅前広場は、北側への距離感を感じさせないような整備をされたい。	
41	高架下にタクシー待機所及び駐車場を整備し、新北駅前広場は、水の流れる城下町風の広場とする。	
42	緑豊かな駅前と人々が集える緑の回廊をつくり、他都市にはない魅力を打ち出してはどうか。	
43	バスターミナル、タクシー待機所は高架下に移設し、北駅前広場を広く活用する。また、駅西地区への視線を確保する。(77件)	
44	姫路駅から既存商店街及び既存地下街への地下通路は、単なる通路ではなく地下商店街の延長とし広い地下街ができることを希望する。また、一部吹き抜けにしてはどうか。	既存地下街の増築や改築には、法令の定めから困難な面があります。なお、姫路駅からの動線の確保については、地下広場を基本に検討を進めてまいります。
45	駅前広場に魅力的な地下空間を創出し、地下から地上へのモニュメントを設置する。また、既存地下商店街を拡充する。(77件)	

No.	市民意見要旨	市の考え
46	新駅ビルは建設せず、観客席のある半地下式ステージのオープンスペースにしてはどうか。高架下や既存商店街と競合する商業施設よりも、人の集うオープンスペースにした方が共存共栄を図れるのではないかと。城を借景にした姫路らしい空間になるとともに、地下街にも人が流れるものとする。	新姫路駅ビルについては、(株)姫路駅ビル、JR西日本、姫路商工会議所、兵庫県及び姫路市で構成する連絡調整の場を設置し、具体的な検討を進めてまいります。
47	駅ビルを廃止し、駅のホームからお城が見えるようにする。(77件)	
48	(高架下) 高架下商業スペースについて、JRに対し姫路らしさを演出できるような施設配置が実現できるよう働きかけるとともに、地元商工業者育成のため、地元業者が優先的に入居できるよう積極的に働きかけられたい。	高架下の商業施設は、JR西日本が設置・運営するものですが、市としても、民間における活発な経済活動が行われるとともに、姫路らしい店舗展開や空間形成が図られるよう促進していきたいと考えております。
49	高架下商業床への入居は、地元資本を優先させる。(77件)	
50	(コアゾーン) コアゾーンにふさわしい都市機能の実現のため、市又は関係機関において土地を取得されたい。	構想に記載するとおり、特別用途地区、地区計画制度等の都市計画法に基づく規制・誘導方策等を活用し、ふさわしい機能が円滑に立地できるよう検討を進めてまいります。
51	(イベントゾーン) 姫路には文化を楽しむという場が少ないと思うので、大きなホールと会議室が併設された施設があれば良いのではないかと。	イベントゾーンについては、いただいたご意見を参考にさせていただきながら、エントランスゾーン、コアゾーンとの機能分担と連携も考慮しつつ、その活用方策について検討してまいります。
52	ロックフェスティバルやエンターテイメントなどを行う空間とすれば良いのではないかと。	
53	野外活動の場にしてはどうか。	
54	イベント会場に若者向けショップが併設されたスペースとしてはどうか。	
55	新たな文化の創造をテーマに、姫路城に匹敵する施設を創造することで、姫路城に頼らない観光都市が実現できるのではないかと。	
56	ハード面だけでなく、ソフト面の充実を図ることができかねるかが疑問である。イベントゾーンを作ることより、イベントの充実を考えてほしい。	
57	イベントゾーンは「育み」をテーマに学習施設群(英会話、スイミング、陶芸教室、子育てアドバイスなど)を建設してはどうか。	

No.	市民意見要旨	市の考え
58	1万人収容のドーム計画を復活してほしい。	多目的ドーム系ホール計画については、市民の十分な理解が得られていないことから既に撤回されております。
59	(姫路駅西地区整備構想) まちづくりへの障害となっているモノレール橋脚跡は撤去する。(77件)	モノレール橋脚跡につきましては、国庫補助事業等が期待できる公共事業にあわせて順次撤去しております。
60	山陽電鉄線を地下化すべきである。	「山陽電鉄線地下化」については、今後の長期的なまちづくりの検討課題であると認識しておりますが、現段階において、山陽電鉄線については、連続立体交差事業、土地区画整理事業及び街路整備事業が日々着実に進捗している状況であることから、「切り下げ方式」で一日も早く各事業を完成させなければならないと考えております。
61	駅前の発展のためには山電地下化が不可欠であるとともに、駅西地区の再開発を進める起点としても実現が求められる。	
62	姫路駅西地区整備構想に山陽電鉄地下化を盛り込み、平成30年度以降に具現化すべきである。(77件)	
63	駅西地区に商住一体型の複合住宅を建設されたい。	
64	駅西地区にふさわしい整備の実現に向け、再開発準備組合の設立支援や計画の策定などについて、積極的に支援されたい。	駅西地区のまちづくりについては、地元住民や地元協議会の意向が基本になるものと考えており、今後、同地区にふさわしいまちづくりについて、地元との連携を図りながら検討を進めてまいります。
65	JR姫路駅を中心に東西のバランスを考えたまちづくりが必要である。	
66	南町通り、久保町、忍町通り、中之門筋を歩行者優先とし、播磨、但馬の良質な食材が揃う播磨市場を形成する。(77件)	
67	(都心部の道路整備) 高尾線と大手前通りとの通行を可能にほしい。	都心部の環状道路網計画については、都心交通の円滑化と通過交通抑制の観点から計画しており、昭和62年の都市計画決定では、高尾線と大手前通りとを結んでおりません。しかしながら、現在、新北駅前広場の整備に向けた適切な交通処理のあり方について、現高尾線の機能を含め、再度検討を進めております。
68	高尾線については、少なくとも国道2号・十二所前線の双方向化が実現されるまでは車両が通行できるよう計画を見直されたい。	
69	城北線は昭和初期に計画された道路であるが、人口も減っている時代において、計画を見直すべきではないか。	

No.	市民意見要旨	市の考え
70	国道 2 号及び中心市街地の一方通行を解除されたい。	構想に記載するとおり、国道 2 号等の一方通行解除に向け、道路整備などに努めるとともに、要望活動を積極的に推進してまいります。
71	環状道路網の機能を発揮させるため、国道 2 号及び十二所前線を 4 車線化し、対面通行とする。(77 件)	
72	一方通行は既に定着しており、双方向化となれば渋滞するとともに事故が増えるのではないか。	国道 2 号等の一方通行解除の向けた要望にあたっては、交通渋滞や交通事故等の防止に十分配慮しつつ活動を進めてまいります。
73	<p>(世界文化遺産姫路城の保全と活用)</p> <p>情緒を備えた城郭都市を構築していくまちづくりこそが姫路の生き残る道であり、歴史的景観に配慮した情緒を醸し出す城下町形成のため、以下を提案する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中曲輪内の町割りの復原(先ず、シロトピア記念公園について、町割りを生かしたレイアウトで再整備してはどうか) 2 城郭の復原(昭和初期に頓挫した復原計画を実行してはどうか) 3 城郭資料館の充実(県立歴史博物館を世界城郭博物館として充実させてはどうか) 4 適正な植栽(周辺に余りにも木を植えすぎであり、特に大きくなる木の植樹は即刻中止すべき) 5 内曲輪は基本的にはすべて昔の工法で整備 6 サインは最小限にし、出来るだけ木製を使用 7 城下町の情緒を醸し出す工夫が必要(町家など伝統的建築の保存、旧町名の復活、街路灯などのデザインに工夫を) 	特別史跡区域を中心とする姫路城跡については、特別史跡姫路城跡整備基本構想の見直しを現在進めており、新しい基本構想の策定後、世界文化遺産にふさわしい整備と活用を図ってまいります。なお、歴史的な町並みを構成する町家等については、保存・再生に向けた支援策を検討してまいります。
74	<p>(国際観光都市を目指して)</p> <p>姫路の歴史が培ってきたイメージを現代風にアレンジし、まちづくりに活かさないか。</p>	姫路城に象徴される歴史的・文化的資源を活用し、都心部の魅力をさらに高めてまいります。
75	汚い街は印象が悪いため、ゴミ、鳥の糞などの清掃面にも力を入れてほしい。	姫路市では、「姫路のまちを美しくする条例」を制定するとともに、大手前通り等における美化啓発活動や清掃活動を通じて、世界文化遺産姫路城を有するまちにふさわしい美化活動を推進しております。また、ムクドリ等のフンについては、高圧洗浄等により清掃を実施しております。今後とも「ポイ捨て防止キャンペーン」等の啓発事業を行うとともに、広報媒体によるPRを進め、ポイ捨てのない美しいまちの実現に向けて取り組んでまいります。
76	道路が汚いため、清掃など細かい所にも気を配り清潔感のあるまちづくりをしてほしい。	

No.	市民意見要旨	市の考え
77	道路上へのはみ出し営業や看板の設置は、街の美観を損なっている。観光客や市民が気持ちよく歩けるよう街の美観を保持することが必要である。	道路へのはみ出し営業については、道路管理者として事業者への適正な指導を行うとともに、看板等の設置については、「姫路市屋外広告物条例」に基づく簡易除却制度等により随時撤去を行っております。今後とも、いただいたご意見を踏まえ、まちの美観保全を図ってまいります。
78	姫路の素晴らしい行事に多くの外国人を参加させ、文化交流を図ってはどうか。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。なお、国際交流フェスティバルの開催など、外国人との交流や異文化に対する理解の促進に努めております。
79	国際観光都市とすることで来街者の増加と経済のサービス化がいかに進められるかの戦略を明らかにしてほしい。	本市の観光の中心である世界文化遺産姫路城の活用はもとより、本構想の重点事業に掲げる「国際観光都市をめざして」や平成16年度に策定した「姫路市地域経済再生プラン」に掲げる戦略を着実に推進してまいります。
80	世界に向けての情報発信が不十分であり、もっとネットワークを活用し、姫路の良さを広くPRしてはどうか。	外国人観光客の誘致を図るため、海外担当観光大使の設置や海外の旅行エージェントの招へい、海外での観光キャンペーンなどを実施しております。今後とも世界に向けた積極的な観光情報の発信に努めてまいります。
81	姫路城内などに侍姿や町娘風のボランティアガイドなどを常駐させ、侍のいる城のイメージづくりをする。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。なお、現在姫路城では、姫路観光協会から「殿様ガイド」を月に4回派遣しております。
82	姫路の企業やリサイクル特区を含め、企業研修旅行を全国にアピールしてはどうか。	いただいたご意見を参考とさせていただき、産業ツーリズムに関するパンフレットなどを利用して、さらなる観光客の誘致に努めてまいります。
83	お城以外の観光資源の開発が必要ではないか。	城下町としての歴史的資源をはじめ、合併する4町も含めた観光資源の掘り起こしを行い、観光都市としての魅力の向上に努めてまいります。
84	姫路城の広報をもっと活発にすべきではないか。	インターネット等の各種広報媒体を積極的に活用し、本市の観光の中心である世界文化遺産姫路城のPRに努め、観光客の誘致を図ってまいります。
85	初めての人でも分かりやすいように、お店の場所などの案内を充実させてほしい。	国が策定する「観光活性化標識ガイドライン」を活用し、案内標識の設置に努めてまいります。
86	来街者向けの案内板の充実を図れば、観光ナビポートなどの利用が増えるのではないか。	

No.	市民意見要旨	市の考え
87	各所にある不統一の看板をすべて高札に統一し、旧町名、旧史跡などの案内をする。	
88	(都心商業の活性化) 商店街が自分たちで無料駐車場を確保してはどうか。	商店街における無料駐車場の確保については、商店街における独自の取り組みであると考えます。
89	お城までの道のりについて、全国の商店街の活性化事例を参考にもっとわくわくする町並みにしてはどうか。	全国の活性化事例等も参考としながら、魅力ある商店街づくりを支援してまいります。
90	駅前を活性化させるには、郊外店との差別化を図ることが必要である。	中心市街地における商店街については、“行って楽しい” “歩いて楽しい”と感じられるよう、商店街が培ってきた個性を活かし、老舗の集まる商店街など「テーマ性のある個性的な商店街づくり」を促進し、郊外店との差別化を図ってまいります。
91	時間をかけてゆっくり楽しめる商店街というものが姫路にはないのではないかと。	
92	商店街の活性化は、イベントや施設の整備でできるのではなく、そこに住む町衆が主体になって進めるべきものではないかと。	商業者のさらなる努力を期待しつつ、「条件整備は行政、経済活動は民間」という役割分担を基本に、都心商業の活性化を促進してまいります。
93	(都心居住の促進) ホテル式高齢者用分譲マンションを建設してはどうか。	高齢者にとって住みやすく快適な居住環境の形成により、都心居住の促進を図ってまいります。なお、分譲マンションの建設については、民間事業者において取り組むべき分野であると考えます。
94	空き地を買い上げ、公営マンションを整備してはどうか。	公営住宅の整備については、姫路市住宅計画に基づき、計画的な整備を進めております。
95	(環境に配慮) モノレール橋脚跡については、緑化による修景ではなく、街並み整備のためにも撤去を含め、検討されたい。	モノレール橋脚跡については、国庫補助事業等が期待できる公共事業にあわせて順次撤去しております。
96	ペロタクシーを導入し、若者が参入しやすいようサポートする。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
97	自転車の利用者にとって道路に危ない箇所がある。	自転車道ネットワークについては、「姫路市自転車利用環境整備基本計画」に基づきその構築を図ってまいります。また、道路における危険箇所については、安全・安心な道路空間への改善を適切に進めております。
98	自転車専用道路を市内全域に整備してほしい。	

その他の意見

No.	市民意見要旨	市の考え
99	都心部に賑わいを取り戻すことは、都心部の事業者のためと誤解されているのではないか。都心部の衰退が姫路の将来にとって重要な問題であることを広く市民にアピールしてほしい。	構想の策定にあたっては、都心部を市民の共有財産と捉え、市民はもとより訪れる人々にとって魅力ある都心の形成を目指しております。なお、いただいたご意見を参考とさせていただき、今後、各種広報媒体を通じ、都心部の活性化の必要性について積極的にお知らせしてまいります。
100	キャストィ 21 などのまちづくりには、住民の意見・考え方などを少しでも多く取り入れたものにしてほしい。	パブリック・コメントの活用により、市民のご意見を反映させるとともに、さまざまな広報媒体を通じ計画の内容等を積極的にお知らせしてまいります。
101	都心部まちづくり構想について、計画に市民が参画できるようもっと大々的に市民に知らせてほしい。	
102	広域な姫路市には、それぞれ独自の文化圏をもった「まち」があり、市内各地域のバランスのとれたまちづくりの一環として、都心部まちづくり構想を位置付けることが必要である。	姫路市の都心部は、古来より播磨の中心地としての役割を果たしており、都心部の再生は圏域全体の活性化を図るうえで、重要な施策であると考えます。なお、いただいたご意見のとおり、市内にはそれぞれの文化を有する地域があり、各地域における特性を活かしながら、さまざまな施策を展開しております。
103	姫路競馬場でナイトー競馬を実施してはどうか。	姫路競馬場については、競馬事業全体の見直しの中で、兵庫県を初め、関係団体と検討・協議をしてみたいと考えております。
104	網干港沖に姫路湾岸線を整備し、姫路バイパスと連結させれば、アクセスが向上し発展にもつながるのではないか。	都心部まちづくり構想では、その性格上、市全域の交通政策までは対象としておりませんが、関連する構想として播磨臨海地域道路網構想の調査・検討を進めております。

姫路市都心部まちづくり構想(案)への市民意見
(パブリック・コメント)の募集結果について

発行年月：平成 18 年（2006 年）3 月

発 行：姫路市

編 集：姫路市都市整備局都心再生推進室

〒670-8501 姫路市安田四丁目 1 番地

TEL (0792)21-2386・FAX (0792)21-2557

E-mail toshinsaisei@city.himeji.hyogo.jp

<http://www.city.himeji.hyogo.jp/toshinsaisei/>